

日本共生科学会 第10回 横浜関内大会

期 日：2018年6月9日(土)・10日(日)

会 場：ニュースパーク・星槎大学大学院
神奈川県横浜市中区日本大通り番
横浜情報文化センター内

大会実行委員長： 山脇直司（星槎大学）

参加費 2,000 円（2日間ニュースパーク
入場料込）

一般公開シンポジウム

6月9日 14:00~17:00

「いま改めて、共生の在り方を考えるー 平成時代の終わりにあたって」

シンポジスト：

「ネット時代の子供の人権」

渡辺真由子（メディア学者、
ジャーナリスト）

「高齢化社会における共生のための医療」

色平哲郎（佐久総合病院医師）

「環境問題と環境的正義；3.11以降」

鬼頭秀一（星槎大学教授）

「国家を超えた共生社会への道」

高橋一生（日本共生科学会副会長）

コーディネーター：

山脇直司（日本共生科学会会長、
星槎大学教授）

参加費無料

（資料代500円 ニュースパーク入場料込）

学会シンポジウム

6月10日 13:00~16:00

「ローカルが豊かになるための 教科書づくり」

基調講演 「子や孫が大人になったときにも
光り輝く美しい島づくり

ー 今、何を考えなければならないのか？」
石田秀輝（東北大学名誉教授）

特別講演 「地域が豊かであるためには？」

吉澤保幸（場所文化フォーラム
名誉理事）

ディスカッション

「今何を考えなければならないのか？」

報告者 外山利章（知名町町議会議員）

古村英次郎（おきのえらぶ島観光連盟）

竿智之（星槎大学）

うじじきれい団（沖永良部在住3姉妹）

共同座長 鬼頭秀一（星槎大学）

細田満和子（星槎大学）

沖永良部島とTV会議で繋がります

詳細は学会facebookページを御覧ください。

<https://www.facebook.com/kyoseikagaku/>
facebookのアカウントがなくても見られます。

大会プログラム 6月9日（土曜日）

	時間	内容
受付	10:00～10:20	
自主企画 シンポジウム ニュースパーク (A, B)	10:20～12:20	①「保護者が求める「支援」の在り方～当事者の声から学ぶ～」 企画者 三田地真実（星槎大学教授） 山田理絵（星槎大学校友会・保護者） 山根佐智子（星槎大学・保護者） 星野料代（星槎大学卒業生・保護者） 谷田悦男（埼玉県立所沢特別支援学校） 鬼頭秀一（星槎大学教授）
	10:20～12:20	②「越境のライフヒストリー 改めて共生を問い直すために」 企画者 村松陸雄（武蔵野大学）・村山史世（麻布大学） 三木柚香（星槎大学） 小山田健（小樽商科大学）
休憩	12:20～13:20	（理事会 12:30～13:20 場所：星槎大学大学院 5F Dルーム）
総会 ニュースパーク	13:30～13:50	総会
一般公開 シンポジウム ニュースパーク 参加費無料 資料代500円 ニュースパーク 入場料を含みます	14:00～17:00	一般公開シンポジウム 「いま改めて、共生の在り方を考えるー平成時代の終わりにあたって」 シンポジスト： 「ネット時代の子供の人権」 渡辺真由子（メディア学者、ジャーナリスト） 「高齢化社会における共生のための医療」 色平哲郎（佐久総合病院医師） 「環境問題と環境的正義；3.11以降」 鬼頭秀一（星槎大学教授） 「国家を超えた共生社会への道」 高橋一生（日本共生科学会副会長） コーディネーター：山脇直司（日本共生科学会会長、星槎大学教授）
情報交流会 星槎大学大学院 5F	17:15～18:45	会費 3000円 多くの方のご参加をお待ちしています

6月10日（日曜日）

	時間	内容
一般発表 発表15分 質疑応答10分 ニュースパーク (A)	10:00～12:30 座長 北村浩一郎 (星槎大学)	A①「ライフヒストリー-曼荼羅ワークショップ」の基礎的研究 ～ライフヒストリー-曼荼羅図と通常の年表型を使った場合の比較的検討～ 三田地真実（星槎大学） A②「ボランティア活動で共生を学ぶ場を作り出す」 酒井絵理香（星槎大学大学院）坪内俊憲（星槎大学大学院） A③「成人期にASDと診断された当事者における就労支援に関する課題と 提言」～長期的就労を実現可能にするための必要要件の視点を中心にして～ 布川直樹（星槎大学） A④「共生社会構築のための紛争解決の在り方に関する考察」 ー学校教育における障害を理由とした差別解消のためにー 南館こずえ（インクルーシブ教育推進データバンク） A⑤「ボランティアからサービス・ラーニングの転換に向けて」 ーある公務員専門学校における取組み 太田麻由（星槎大学大学院）・杉山尚子（星槎大学大学院） A⑥「Building Peace in Kyosei Classrooms: Reducing Societal Conflict in Arts」 Richard K. Gordon(Seisa University/ California State University) Taichi Akutsu(Seisa University/ Shujitsu University) Miwako Hosoda(Seisa University) Shizuka Sutani (Fukuoka Women's Junior College) Machiko Yoda (Seisa University)

	時間	内容
一般発表 発表15分 質疑応答10分 ニュースパーク (B)	10:00～12:30 座長 岡田匡令 (淑徳大学)	B①「ESDを保育に活かすー持続可能な社会の担い手を創る保育実践ー真のやさしさとは」 山崎浩子 (すずのき台保育園) B②「環境教育の理念的枠組みの再構築と共生」 三木柚香 (星槎大学) B③「人と自然の営みを持続可能にする地域ビジョンの形成とSDGsへの期待」 畑正夫 (兵庫県立大学) B④「遊び仕事から地域のサブシステムの痕跡をたどる学び」～共生教育としてのESDの一実践 村山史世 (麻布大学) B⑤「SDGs 持続可能な開発計画とSF 国連仙台防災枠組みへの共生アプローチ」 長岡素彦 (地域連携プラットフォーム)
休憩	12:30～13:00	
学会 シンポジウム ニュースパーク X 沖永良部島 旧下平川保育所 インターネット 回線で繋がります	13:00～16:00	学会シンポジウム 「ローカルが豊かになるための教科書づくり 今何を考えなければならないのか？」 開催場所 横浜メディアセンター x 沖永良部島 (旧 下平川保育所) 基調講演 「子や孫が大人になったときにも光り輝く美しい島づくりー今、何を考えなければならないのか？」 石田秀輝 (東北大学名誉教授、地球村研究室代表社員) 特別講演 「地域が豊かであるためには？」 吉澤保幸 (場所文化フォーラム名誉理事) 実施報告I 「持続可能な社会創生のための沖永良部島での活動」 外山利章 (知名町町議会議員 花卉農家) 古村英次郎 (おきのえらぶ島観光連盟事務局長) 実施報告II 「海のごみ拾いからわかったこと」 竿智之 (星槎大学、美容師) うじじきれい団 (沖永良部在住3姉妹) ディスカッション 「今何を考えなければならないのか？」 共同座長 鬼頭秀一 (星槎大学教授) (ニュースパークにて) 共同座長 細田満和子 (星槎大学教授) (沖永良部島にて)



会場マップ

ニュースパークは、
横浜情報文化センター2Fです。

- ・みなとみらい線⇒「日本大通り駅」
3番出口 徒歩0分
- ・JR⇒「関内駅」南口徒歩10分
(800m)
- ・横浜市営地下鉄⇒「関内駅」1番出口
徒歩10分 (800m)

お問い合わせ先：

〒231-0021

神奈川県横浜市中区日本大通11番 横浜情報文化センター5階
星槎大学大学院 大学院事務局

【TEL】 045-212-3830 kyosei_gakkai@seisa.ac.jp